

MyTutor 10 段階レベル表

「英語力」というものは、目に見えない力。

それだけに、上達していることを実感しにくいものです。

でも、上達の実感こそがモチベーションの原動力。MyTutor では「上達」を最大限、目に見えるものにするため、英語の総合能力（話す、聞く、書く、読む）を 10 段階で表しております。

1 Beginner

英語に触れることが全くの初めて、あるいはそれに近い初心者。挨拶ができたり簡単な単語を読むことはできる。しかし、会話のときは単発的に使う単語と身ぶり手ぶりが中心になります。

2. Beginner

助けを借りて簡単な日常会話ができます。「趣味は?」「映画です」など、簡単な問いに対して短い応えができます。自己紹介や、簡単な動作、表現ができるようになっていきます。しかし、まだ、身ぶり手ぶりが多く、正しい文章で話すことより、単語をつなげてコミュニケーションしているレベルです。(英検 5 級、中 1)

3. Elementary

日常的な会話や興味のある分野なら、聞き取れた単語を頼りに推測して理解することができます。限定的だが自己紹介の延長で自分の話せる範囲が少しずつ広がりつつあります。暗記しているフレーズを使ってシンプルなコミュニケーションができるレベルです。(英検 4 級・中 2)

4. Elementary

シチュエーションや話す相手によって若干表現を変えられ、自分の考えを伝えることができます。簡単な単語をつなげて文章の幅も広がりつつあります。しかし、理由などをわかりやすく説明したり、質問へ自然な間隔で応えるにはまだ時間がかかるレベルです。(英検 3 級 中 3、TOEIC 300)

5. Low-Intermediate

会話に必要な最低限の文法知識がある。英語を話す際のリズムや会話特有の語感も感覚としてつかみ始めている「ブローケン」ではあるが相づちを使うなど英語に自然さが出て

いる。短い話や説明であれば順序立てて伝えられ、抽象的なトピックについて会話もできる。(英検準2級/高1-2/TOEIC 400/TOEFL 40)

6. Intermediate

スピードはゆっくりだが、かなり適切な会話力、表現力が身につけている。
背景知識のある話題では言いたいことを文章に組み立てて話すことができる。
慣用句も適切に使い始め会話に自然な柔らかさがでてきた。ネイティブの自然な英語はまだ聞き取れない。また、少し難度の高い話題にはまだ対応できない。
(英検2級/高3/TOEIC 600/TOEFL 60)

7. Upper-Intermediate

短くはあるものの、論理的な議論ができます。語彙力がつき、一つの単語の複数の意味を理解し、口語表現やスラングも使うことができます。同じことを言うのに、相手に合わせて複数の表現を使い比喩的な表現も少し使えます。
(英検2級/TOEIC 670/TOEFL 70)

8. Low-Advance

日常生活や基本的な業務の中でトータル的に、自分の言いたいことが言え、相手の言っていることがわかる。意思疎通、情報交換には問題ないバイリンガルになっている。初歩的な通訳もできる。日本語的&英語的なものの見方も整理され理解できている
(英検準1級/TOEIC 730 / TOEFL 80)

9. Advance

スピーディーかつ正確な情報発信、商談、交渉など深いレベルでのコミュニケーションが図れる。複数のネイティブの中でも英語を心理的、技術的に対等に駆使でき、ハンディなく対等なポジションを取ることができる。
(TOEIC 860 / TOEFL 100)

10. Upper-Advance

日本語運用と同等に英語が使える。論理構成力、自己表現力等コミュニケーション全般において高い能力がある。プレゼンテーション、ディベートや問題解決、意思決定なども英語でスムーズに進行できる、教養あるネイティブの中でも対等に高度な内容の仕事が進行できる。
(TOEIC 950 / TOEFL 110)